

會 務

第20卷第9號 昭和9年9月

編輯委員會

第8回編輯委員會

開催日 昭和9年8月6日

出席者 編輯長 田中 豊君

委員 青木 楠 男君 中原 壽一 郎君 野口 誠君 福田 武雄君
星野 茂 樹君 堀 越 一 三君

協議事項

1. 第20卷第7號所載下記論説報告に對する討議依頼先を決定す。

係數曲線に據る調整池諸問題の解法
小型潛函工事報告
不等速定流に關する 2, 3 の問題
北滿に於ける架橋工事の一例

會員 工學士 松野 辰 治著
會員 鈴木 美 英著
准員 工學士 本 間 仁著
准員 眞 鍋 簡 好著

2. 第20卷第7號所載工事寫眞, 論説報告, 討議, 彙報, 參考資料に對する謝禮を夫々決定す。

3. 第20卷第9號登載論文を下記の通り決定す。

工事寫眞: 天神橋改築工事, 王泊堰堤工事

論 説 報 告

朝鮮鎮南浦港石炭船積施設
改良型撓度振動記錄器及び應力記錄器に就きて
光彈性に關する研究
Theory of Influence Equations
曲線轉轍器轍又と直線轉轍器轍又との比較

會員 工學士 齋 藤 固
會員 ^{スウェーデン}松野 正 志
會員 工學士 高 橋 逸 夫
會員 工學博士 久 野 重 一 郎
會員 御 厨 忠 文
准員 鈴木 喜 雄

討 議

道路曲線部の片勾配に關する理論
吊橋の振動に就て

著者 會員 工學博士 久 野 重 一 郎
會員 庄 野 卷 治
著者 准員 工學士 最 上 武 雄

彙 報

ゲーデルマンの角と雙曲線函數及び指數函數の計算に就て
天神橋改築工事概要
王泊堰堤工事報告
世界動力會議大堰堤國際委員會日本國內委員會近況
三朝橋架換工事概要

會員 坂 元 左 馬 太
會員 工學士 堀 威 夫
會員 工學士 空 閑 徳 平
會員 工學博士 神 原 信 一 郎
會員 工學士 三 宅 發 造

特 許 抄 録

粘土質路面處理法 跳上橋の改良
瀝青質鋪裝混合物の製造法の改良 廻轉式鑿錐

瀝青乳劑鋪裝工法 漸移性無成層式硬質面の鋪裝基礎築造法

参 考 資 料

- 流速測定の新考案 (岡崎三吉)
- 鉄筋コンクリート橋の諸型式とその選定 (内山 賢)
- オイラーの控屈公式の一般化 (同上)
- 直線状境界壁を有する面内の渦の運動 (本間 仁)
- 路盤の結氷による鋪裝版の隆起と之が防止法 (高島健二)
- 地盤支持力の検測 (佐藤寛政)

4. 第20巻第10號登載論文を下記の通り決定す。

論 說 報 告

- 河川の流出量公式 會員 工學士 都々木春美
- 走行自動車に因る橋桁強制振動の理論 會員 工學士 小澤久太郎
- 軌條の控屈に就て 會員 工學博士 堀越一三

5. 記念講演集編纂之件。

本會20周年記念講演の記録は土木學會誌の號を追ひて出版する事として出來れば第20巻第12號、間に合はなければ第21巻第1號として發刊する事。

土木工學論文抄録主査會及記念講演委員會

第 4 回 協議會

開 催 昭和9年8月22日午後1時土木學會々議室

- 出席者 委員長 中川吉造君 那波光雄君
- 主 査 竹股一郎君 田中 豊君 萩原俊一君 三浦七郎君
宮本武之輔君 青木楠男君 藤井眞透君 關 信雄君
- 委 員 藏重長男君 永田 年君 福田武雄君 伊藤 剛君
五十嵐醇三君

協議事項

1. 土木工學論文抄録原稿總數及内譯篇數

各部門主査より既に提出されたもの及び當日持参されたものを合せ總數5350篇を得たるも各部門に同一にして重複せる論文あるやも知れず且又各部門目次の改廢整理を別紙の如く行ひたるを以て原稿を再調整し原稿の總數並に内譯數確定の上報告すること。

2. 部門目次及原稿の整理

從來の部門に對し「コンクリート」なる新部門を設け又上下水はこれを分つて2部門とし合計19部門となし部門排列の順序は大體用語調査に於ける部門の順序に従ひ以下の順序によること。

土木工學論文抄録目次

- 1. 土 木 一 般 2. 應 用 力 學 3. 水 理 4. 測 量
- 5. 材 料 6. コ ン ク リ ー ト 7. 施 工 8. 河 川
- 9. 水 力 電 氣 10. 堰 堤 11. 上 水 道 12. 下 水 道
- 13. 港 灣 14. 道 路 15. 都 市 計 畫 16. 橋 梁 及 構 造 物

17. 鐵 道 18. 隧 道 19. 雜

以上の各部門内目次は各主査より夫々提示されたるものに對し多少變更の上決定せり。これに伴ひて論文の所屬に移動を來せるを以て早速之が整理に着手する事。

3. 論文原稿の整理並に校正

原稿の整理及び校正は各主査の手許で行ふ事であつたが今回鐵道省建設局伊藤達雄君、同工務局和田定雄君、都市計畫東京地方委員會鹽澤 弘君、東京府土木部糸川一郎君の4君に論文抄録編纂の囑託を依頼し原稿を整理並に校正を煩はすことになつた。

4. 記念講演者並に演題

杉浦翠君の演題未定を除き他は凡て決定せり。

5. 講演時間割並に順序

全講演者 32 人を 2 日に分ちて 1 日に 16 人とし午前 8 時 30 分に講演を開始し、1 人 13 分宛の割合にて中間に 10 分間休憩をなし 0 時 8 分に終了する案に決定せり。

6. 記念講演前刷印刷並に記念講演號の發行

記念講演の前刷は講演その儘を印刷になすこととし、紙版及び印刷上の體裁は學會誌に倣ふ事。記念講演號は學會誌を以て宛つることとし講演會後なるべく速かに發行し得る様直ちに準備に着手する事。

7. 表題變更の件

從來の土木工學論文集録なる表題は「土木工學論文抄録」に改むこと。

20周年記念祝賀準備委員會小委員會

總務委員會

開催日時 昭和 9 年 8 月 1 日午後 1 時 30 分

出席者 副委員長 井上 秀 二君
委 員 衣 斐 清 香君
" 錢 高 作 太 郎君

祝賀會招待者追加及徽章作成並に地方委員を煩し多數會員の來會を計る事等に就き協議し午後 3 時 30 分散會す。

見學委員會

開催日時 昭和 9 年 8 月 30 日午後 2 時

出席者 副委員長 小 川 織 三君
委 員 樺 島 正 義君 田 村 與 吉君
" 關 毅君 西 大 條 覺君
" 森 田 三 郎君

副委員長小川織三君より見學會次第に就き各委員に諸り次の通り決定し委員會に報告することとし午後 5 時散會す。

祝賀會第 2 日に於ける次第

日 時 昭和 9 年 10 月 27 日午後 1 時 10 分

集合場所 新議事堂玄関前

見學場所 (1) 新議事堂 (2) 專賣局業平工場

祝賀會第 8 日に於ける次第

日 時 昭和 9 年 10 月 28 日午後 0 時 40 分

集合場所 東京市中央卸賣市場

見學場所 (1) 東京市中央卸賣市場 (2) 東京築港及臺場 (3) 東京市芝浦下水處分場

そ の 他 の 記 事

- 昭和 9 年 8 月 9 日事務所移轉の認可申請を東京府經由主務大臣に申請せり。
- 昭和 9 年 8 月 25 日主務大臣より昭和 9 年 8 月 21 日付にて事務所移轉の認可ありたり。
- 昭和 9 年 8 月 24 日土木學會誌第 20 卷第 8 號發行成規の手續を了し 8 月 25 日これを全會員に配布せり。
- 昭和 9 年 8 月 20 日までに於て下記の諸君を入會又は轉格の手續を了し名簿に登録せり。

入 會 々 員

青木保雄君	青木安治君	秋葉俊次君	淺井八重吉君
荒木隆吉君	安細廣志君	伊勢谷清三君	飯塚三郎君
石野明君	宇野實君	上田恒太郎君	岡部保人君
奥西友郎君	川崎茂夫君	鬼頭鐵郎君	須藤茂基君
中井愛次君	中島貞一郎君	中村又一君	西澤英則君
野上重亨君	野口章祥君	花岡亮君	星加勝君
細川忠君	矢敷喜作君		

入 會 准 員

安部廣君	愛甲寅喜君	新居忠男君	荒田芳弘君
井筒廣海君	磯野家吉君	宇佐美勇司君	内村信幸君
上戸斌司君	榎璋君	小川和人君	小川太郎君
小野慶治君	小野殖君	小野竹之助君	小原巳代志君
大野繁雄君	大村覺君	太田彦四君	太田文吉君
貴田廣君	木村秀雄君	絹川新一郎君	倉井麟平君
小柴裕史君	小林正治君	佐藤壽郎君	齋藤基季君
酒井外治君	坂上繁次郎君	榮木先君	三丁目喜一郎君
澤田正一君	志澤義君	重田末藏君	七田孫次君
田邊右門君	高瀬義富君	高橋三郎君	竹内正君
武内佐次郎君	武川義彦君	竹末宗次郎君	富久田喜平君
永田庄吉君	丹羽一雄君	西山政晴君	野上藤造君
野田淺六君	長谷川恒道君	長谷川正勝君	蜂須賀直昭君
花桐逸策君	府川久次郎君	福鳥磨君	淵田敏夫君
古川秀盛君	古牧兵助君	星野貞夫君	牧男進君
松尾稻藏君	政木房次君	三輪三郎君	持川允夫君
百田末吉君	八木正夫君	谷口至巳君	山下竹夫君
山田良平君	劉玉璠君	若崎秀雄君	渡邊啓君
大高廣義君			

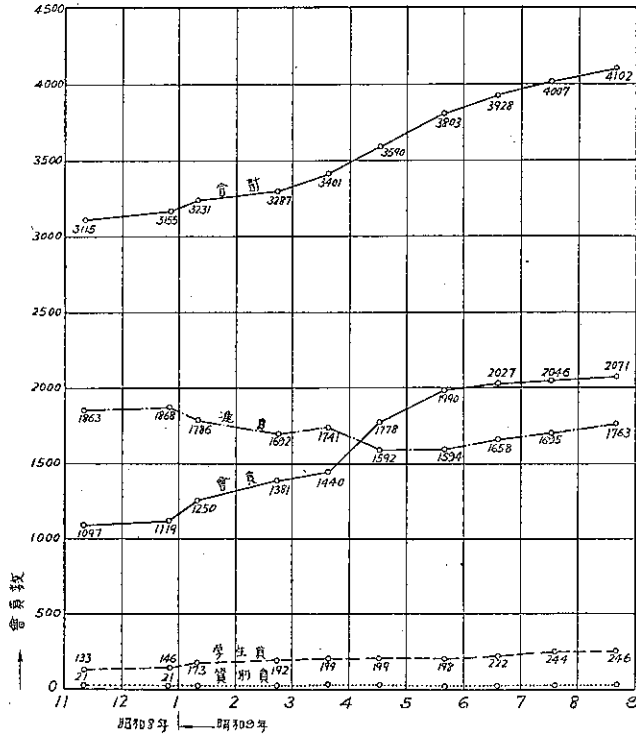
入 會 學 生 員

高島 嶺 雄君 竹下 幾 太 郎 君 樋 野 正 雄 君 畑 谷 正 寅 君
 本 間 三 郎 君 山 田 哲 郎 君 和 久 田 正 二 君

轉 格 會 員

佐 土 原 勳 君 成 瀬 薫 君

會 務 動 一 覽 圖 表



○昭和 9 年 8 月中に於て寄贈又は交換を受けたる雜誌下記の如し。

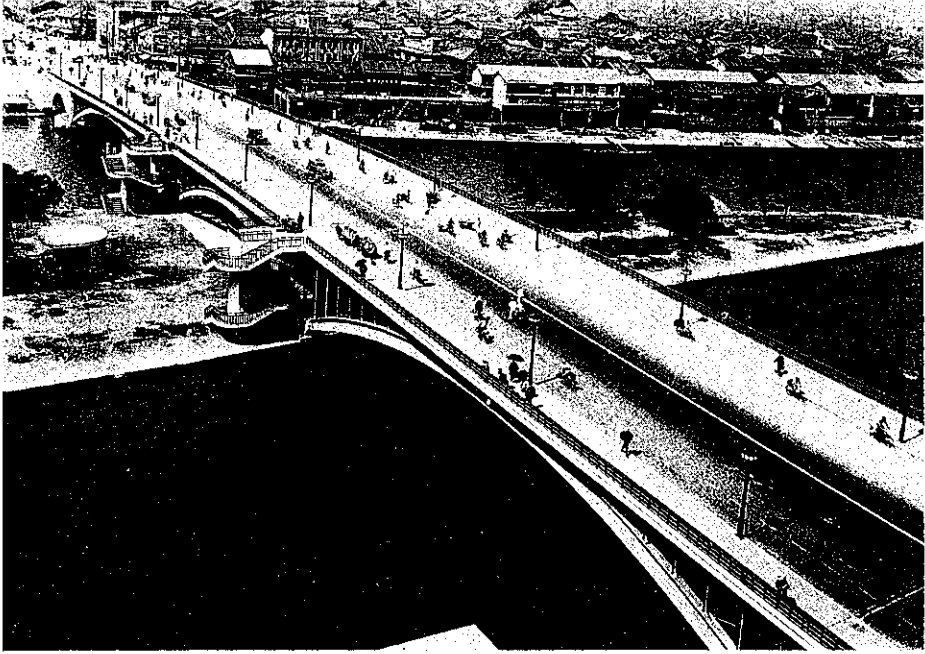
會 報	第 35 卷第 7 號	帝 國 鐵 道 協 會	工 業 現 勢	第 3 卷第 8 號	東 京 工 業 大 學
三 菱 電 機	第 10 卷第 6 號	三 菱 電 機 會 社	土 質 調 査 委 員 會	第 3 輯	鐵 道 大 臣 官 房 研 究 所
日 立 機 械 評 論	第 17 號	日 立 評 論 社	報 告	第 8 卷第 7 號	衛 生 工 業 協 會
日 立 評 論	第 17 卷第 7 號	〃	衛 生 工 業 協 會 誌	第 36 卷第 8 號	工 學 院 同 窓 會
鐵 と 鋼	第 20 年 第 7 號	日 本 鐵 鋼 協 會	工 學 院 同 窓 會 誌	第 8 卷第 5 號	水 曜 會
鐵 道 技 術	第 8 卷第 8 號	鐵 道 技 術 社	水 曜 會 誌	第 8 卷第 5 號	水 曜 會
機 械 學 會 誌	第 37 卷第 208 號	機 械 學 會	學 報	第 3 卷第 7 號	東 京 工 業 大 學
セ メ ン ト 工 業	8 月 號	セ メ ン ト 工 業 社	セ メ ン ト 界 彙 報	第 317 號	日 本 ボ ル ト ラ ン ド セ
國 立 公 園	第 6 卷第 8 號	國 立 公 園 協 會	港 灣	第 20 卷第 8 號	港 灣 協 會
G. S. News	第 8 卷第 7 月 號	日 本 電 池 株 式 會 社	ニ ッ ケ ル 合 金 鋼 の 熱 處 理		ニ ッ ケ ル 情 報 局
日 本 建 築 士	第 15 卷第 1 號	日 本 建 築 士 會	滿 洲 電 氣 協 會 々 報	第 25 號	滿 洲 電 氣 協 會
東 京 土 木 建 築 業	第 7 卷第 7 號	東 京 土 木 建 築 業 組 合	Excavating	No. 7	三 井 物 産 機 械 部
組 合 報	第 7 卷第 7 號	東 京 土 木 建 築 業 組 合	機 械 工 學 年 鑑	昭 和 9 年 版	機 械 學 會
水 道 協 會 雜 誌	第 15 號	水 道 協 會	土 木 建 築 雜 誌	第 13 卷第 8 號	シ ビ ル 社

工 學 No. 240.	東 京 工 學 社	帝國學士院紀事 第10卷第7號	帝 國 學 士 院
工業化學雜誌 第37編第8冊	工 業 化 學 會	都 市 美 No. 8	都 市 美 協 會
造船協會年報會報(表題集)	造 船 協 會	資 源 第4卷第4號	資 源 局
造船協會雜誌 第148號	〃	土木試驗所報告 第27號	內 務 省 土 木 試 驗 所
水之趣味 7, 8 月 號	水 之 趣 味 社	The Summary of the studies on the collection wells and galleries as sources of water-supplies by Yashichi Yoshida.	
電氣學會雜誌 第58卷第8冊	電 氣 學 會	會 務 彙 報 第33號	日 本 土 木 建 築 請 負 業 者 聯 合 會
建築雜誌 第48輯第588冊	建 築 學 會	日 立 評 論 第17卷第8號	日 立 評 論 社
鋼橋の理論と計算 第3卷	コ ロ ナ 社	會 報 第37卷第8號	帝 國 鐵 道 協 會
都市問題 第19卷第2號	東 京 市 政 調 查 會	動 力 31	世 界 動 力 協 會
工 政 172 號	工 政 會	鐵 道 技 術 第8卷第9號	鐵 道 技 術 社
鑄 物 第6卷第8號	日 本 鑄 物 協 會	東 京 土 木 建 築 業 組 合 報 第7卷第8號	東 京 土 木 建 築 業 組 合
豐橋港修築計畫案概要	港 灣 協 會	日 本 建 築 士 第15卷第2號	日 本 建 築 士 會
工 人 7 月 號	日 本 工 人 俱 樂 部	コ ン ク リ ー ト 鋪 裝 = 關 ス ル 研 究 No. 24	日 本 ポ ル ト ラ ン ド セ メ ン ト 同 業 會
建築と社會 第17輯第8號	日 本 建 築 協 會	セ メ ン ト 工 業 9 月 號	セ メ ン ト 工 業 社
工事畫報 第10卷第8號	工 事 畫 報 社	三 菱 電 機 第10卷第7號	三 菱 電 機 會 社
沖電氣時報 Vol. 1, No. 4	沖 電 氣 會 社	水 道 第9卷第8月號	橫 濱 市 水 道 局 長 堀 江 勝 巳 氏
Memoirs Vol. 7, No. 1,2	Ryojun College of Engineering	日 本 鑛 業 會 誌 第50卷第592號	日 本 鑛 業 會
業務研究資料 第23卷第18,19,22,23,24,25,26號	鐵道大臣官房研究所	造 船 協 會 雜 纂 第149號	造 船 協 會
浪速工業時報 8 月 號	浪 速 工 業 會	鑄 と 鋼 第20年第8號	日 本 鐵 鋼 協 會
土木建築と土質調査	西 尾 銈 次 郎	學 報 第3卷第8號	東 京 工 業 大 學
Engineer 8 月 號	都 市 工 學 社		
近世道路工學 第2卷	コ ロ ナ 社		

會員 倉谷克彦君昭和9年7月30日逝去せられたり。本會は恭しく哀悼の意を表す。

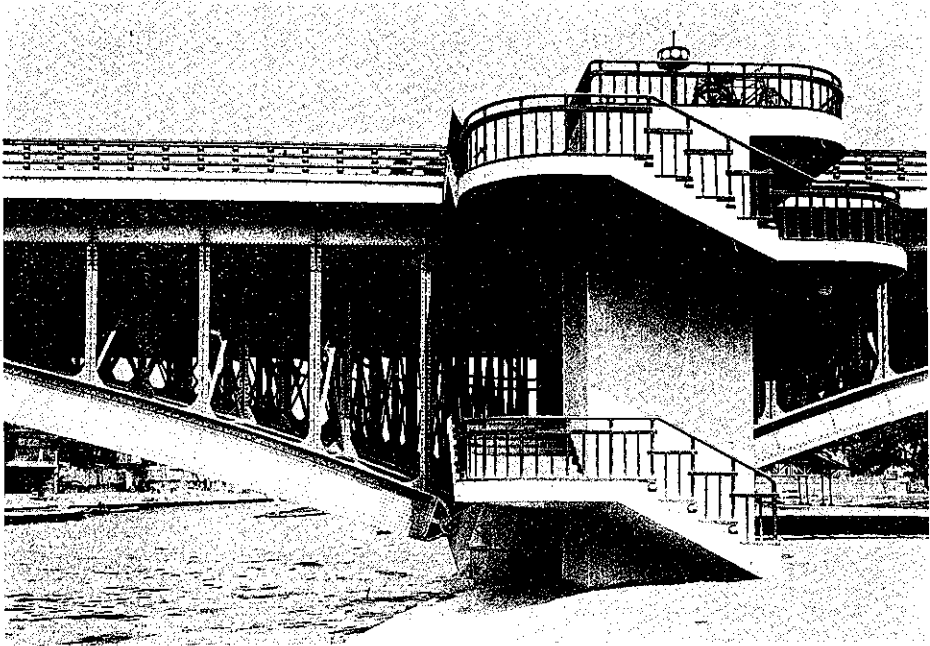
准員 増江大策君昭和9年7月31日逝去せられたり。本會は恭しく哀悼の意を表す。

竣工せる大阪市天神橋



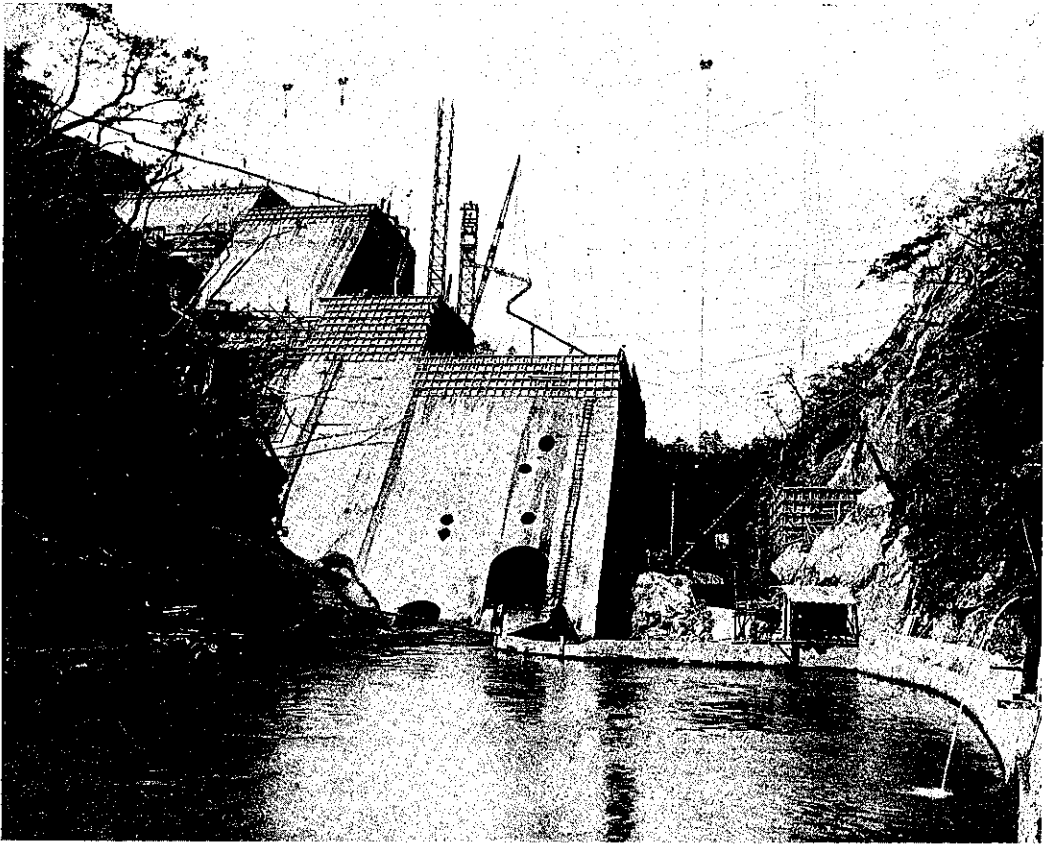
(南詰西側ビルディング屋上より撮影)

中之島階段



(本號彙報欄 1086 頁参照)

工 事 中 の 玉 泊 堰 堤



(本 號 彙 報 欄 1091 頁 參 照)

寄稿に関する注意事項

- (1) 御寄稿は成るべく本會の原稿用紙を用ひ横書きとすること、原稿用紙は御請求次第御送り致します。
- (2) 御寄稿は止むを得ざる場合の外は成るべく本會の原稿用紙 180 枚（本會誌 30 頁）程度とされたし、若し前記頁數を超過する場合は適宜其の程度に縮少を御願ひすることもあります。
- (3) 假名は平假名とし、數字はなるべくアラビア文字を用ひられたし。
- (4) 歐字は特に明瞭に認むること。
 n と u , u と v , r と v , a と α , r と γ
その他頭字と小字とを判然たらしむる事。
- (5) 原稿には必ず冒頭に英文表題及び邦文内容梗概並に著者の職名及び勤務所名を添附されたし。
- (6) 附圖附表に就ては次の各項に御注意ありたし。
 - (イ) 圖面はその儘縮寫し得る様にトレーシング・ペーパー、オイル・ペーパー、トレーシング・クロス等とすること。
 - (ロ) 凡て墨色を用ひインキ類或は彩色を施さざる事。
 - (ハ) 方眼紙は青野のものを用ひ（黄色、赤色の野は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にてこれを描き置かれたし。
 - (ニ) 圖表中の文字、數字は特に大きく肉太に書し縮寫したる後明瞭たらしむる事。
 - (ホ) 圖表類は製版の都合上可なり汚損するものと豫め御含み下されたし。
- (7) 寫眞は特に明瞭なるものを送られたし。
- (8) 論說報告、彙報、參考資料及び工事寫眞にして掲載せる分には謝禮を呈す。
- (9) 講演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 20 部を寄稿者に贈呈するものとし、尙寄稿者の希望に依り實費にて御要求に應ずる事あるべし。

算式その他の記し方大體標準

- (1) 本文、文字間に算式を挿入する場合には次の如く記すこと。 a/b と書き $\frac{a}{b}$ を避けること。 $(a+b)/(c+d)$ と書き $\frac{a+b}{c+d}$ を避けること。
- (2) 獨立したる列に算式を記す場合は次の如く記すこと。 $\frac{1}{3}a$ と書き $\frac{a}{3}$ を避けること。 $\frac{1}{2}(a+b)$ と書き $\frac{a+b}{2}$ を避けること。 $\frac{a}{b+c/d}$ と書き $\frac{a}{b+c\frac{1}{d}}$ を避けること。
- (3) 千以上の數字は 53 247 000 の如く 3 つ單位に間隔をあけること。
- (4) 名數は次の如く記し括弧の中の様に書くことを避けること。
83.4 尺（八丈三尺四寸），7 吋（七吋），35 錢（三十五錢），13.56 圓（十三圓五十六錢），1~4 時間（一乃至四時間），88 326 噸（八萬八千三百二十六噸），1931 年 1 月 1 日（千九百三十一年一月一日）。

新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべきに付その以前の會誌御希望の場合は1部に付下記金額振替口座東京 16828 番に拂込用紙通信欄にその旨記入請求せられたし

残 部 内 譯

卷	號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額(1部)
5		*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00
6		—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	1.00
7		—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	1.50
8		*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9		*	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
10		—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11		—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12		—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
13		—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14		*	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17		*	*	*	*	*	*	*	*	—	—	*	*	1.00
18		—	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	1.00
19		*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
20		*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00

東京市内外交通に関する調査書	3.00
震害調査報告書(1,2,3)	18.00
応用力學聯合大會講演集	1.00
鐵筋コンクリート標準示方書	0.50
同上解説	1.00

(備考: * は残部有るもの)

本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なときは會誌の配布を始めその他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等に於て御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若しこの集金書へ15日間中3回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京 16828 番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又はその他の都合により支拂なき場合は直に御通知相煩度

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けるときは爲替その他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自1月至6月		自7月至12月	
		第1期分3月徴收	第2期分3月徴收	第1期分3月徴收	第2期分3月徴收
會 員	金 12 圓	金 6 圓	金 6 圓	金 6 圓	金 6 圓
准 員	金 9 圓	金 4圓 50 錢	金 4圓 50 錢	金 4圓 50 錢	金 4圓 50 錢
學 生 員	金 6 圓	金 3 圓	金 3 圓	金 3 圓	金 3 圓

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

會 費 未 納 に 付 注 意

會費は年額を第1期第2期に分割し毎年3月9日に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して放なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら定款第2章第14條第1項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎月25日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべきに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月経過して照會せらるゝ向あるも斯くて殘部皆無となり遺憾ながら配布は不可能のことあるべきに付御留意相成たし

雜誌閱覽に就ての會告

別記の寄贈並に交換雜誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は
下記時間内御随意に御閱覽相成度候。

閱 覽 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午前9時至午後4時、其他自午前9時至午後8時。
但し役員會、委員會等開催の日は御斷り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置被
下度候。

廣 告 料

普通廣告	1回1頁	40圓	1回半頁	25圓
指定廣告	裏表紙3面對向 及廣告初頁	1回1頁	60圓	
	裏表紙3面	1回1頁	150圓	
	色アート	1回1頁	75圓	

- 指定廣告は凡て1箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす
- 會員自身の廣告に對しては總て上記料金の1割引とす
- 同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分5割引、1箇年分1割引とす
- 廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

正誤表

光弾性に関する研究

第20巻 第9號 所載

頁	行	誤 植	正
全文に亘り	41 箇所	光効果	光効果
1033	下から 2 行	をかねばならない	をかねばならない
1034	上から 9 行	努力を要する	努力を要する
”	下から 7 行	値が得られ	値が得られ
1035	上から 1 行	補整計測に於て	補整計測に於て
”	下から 7 行	光数果	光効果
1035	下から 6 行	光数果	光効果
1036	下から 16 行	除いてをくのが	除いておくのが
1038	上から 12 行	compensatar	compensator
1040	上から 8 行	緑色光 5641	緑色光 5461
1046	上から 3 行	寫眞暗函ををいて	寫眞暗函をおいて
”	上から 4 行	前枝へは	前板へは

訂正及び追加

ゲーデルマンの角と實双曲線函数及び指数函数の計算に就て
(第20巻 第9號 所載)

訂 正

頁	行	誤	正
1084	上より 1	これから θ を計算するに	三角函数表を利用するには θ を計算する必要があるが
”	上より 3	この時には	既に計算された

追 加

1086 頁最後 (第 13 行の次) に“第 1 圖~第 4 圖の横軸は x の目盛、縦軸は θ の目盛である、 θ の目盛で右側は度又は度分、左側はそのラジアンを表はす。又第 2 圖~第 4 圖の x 軸の下段の數字は x 軸に近い方の曲線 (下方の)、上段の數字は上方の曲線に對する目盛である”を追加す。

DOBOKU-GAKKWAISHI.

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY.)

VOL. XX, NO. 9, SEPTEMBER, 1934.

CONTENTS.

	Page
Proceedings of the Society.....	127
Papers.	
The Coal Shipping Plant at Chinnampo Harbour, Korea. <i>By Katashi, Saito, C.E., Member.</i> <i>Masashi Matsuno, M.S. Member.</i>	977
On the Properties of Improved Vertical Vibrograph and Stress-recorder made by Shimazu-Seisakusho. <i>By Itsuo Takahashi, C.E., Member.</i>	1023
Studies on Photo-elasticity Part II. <i>By Jyuichiro Kuno, Dr. Eng., Member.</i>	1033
Theory of Influence Equations. <i>By Tadafumi Mikuriya, Assoc. Member.</i>	1051
Curved Points and Crossings versus Straight Points and Crossings. <i>By Yoshio Suzuki, Assoc. Member.</i>	1061
Discussions.....	1075
Notes on Matters of Interest.	1081
Patent News.....	1109
Abstracts of Selected Articles.	1111

OFFICE

No. 6, 3-CHOME, MARUNOUCHI, KOJIMACHI-KU, TOKYO.

會 告

本會々長のラヂオ講演に就て

昭和9年10月25日本會々長工學博士久保田敬一君の講演をラヂオ(第1放送)で放送することに決定致しました。

このラヂオに依る講演は本會が創立20周年に當りますので特に國民經濟と土木工學の關係に就て全國に呼び掛けるのでありますから同日を御期待願ひます。

放送の時刻は夕刻と思ひますが未だ確定していませんから同日の新聞紙上で御覽願ひます。

土 木 學 會

會 告

創立20周年記念大會開催通知

来る10月26日より3日間に渉り次の通り本會創立20周年記念大會を開催致します

第1日 26日(金曜日) 祝賀會(宴會費3圓)

於上野精養軒 午後4時 受付開始

同 4時30分 餘興開始

同 5時30分 祝賀式開始

第2日 27日(土曜日) 講演會(會費不要)

於帝國鐵道協會 午前8時25分 開會

見學會(會費不要)

見學場所 (1) 新帝國議事堂 (2) 專賣局業平工場

集合場所 午後1時10分 新帝國議事堂裏門前

第3日 28日(日曜日) 講演會(會費不要)

於帝國鐵道協會 午前8時30分 開會

見學會(會費不要)

見學場所 (1) 東京市中央卸賣市場 (2) 東京築港及第三臺場

(3) 東京市芝浦下水處分場

集合場所 午後0時40分 中央卸賣市場事務所 3階講堂

今回の催しは本會創立以來最初の記念すべき祝賀會にて來賓として内閣總理大臣其他多數名士を招待し最も盛大に舉行することに致しましたから萬障御繰合せ奮て御來會下さる様切に希望致します(次第明細書別紙の通り)

注 意

- 御來會の會員は本會制定の徽章を必ず佩用せられたし(徽章の無い方には當日受付にて金 50 錢で頒布致します)
- 御來會申込は 10 月 10 日までに本會に到達する様御申出て下さい
- 御來會の方には當日受付にて参加章及次第明細書並に講演前刷等を御渡し致します
- 當日晝食を召上る方の爲に御申込の方に限り
 - 第 2 日 (27 日, 土曜日) は帝國鐵道協會食堂に
 - 第 3 日 (28 日, 日曜日) は中央卸賣市場事務所 3 階講堂に用意致しますから返信端書に晝食の要不要を必ず御記入の上御申込下さい
- 晝食料金 (一食) 50 錢は當日晝食箇所受付にて食券と引換に頂きます
- 祝賀宴會費金 3 圓は當日會場受付にて頂きます

社 團 土 木 學 會

創立 20 周年記念大會次第書

第 1 日 祝 賀 會

祝 賀 會 次 第

期 日	昭和 9 年 10 月 26 日 (金曜日)
會 場	於上野精養軒
宴 會 費	金 3 圓
受付開始	(午後 4 時)
餘興開始	(午後 4 時 30 分)
餘 興	(1) 奇術 松旭齋天洋 (2) 講談 大島伯鶴
開 會	(午後 5 時 30 分)
開會之辭	(午後 5 時 30 分) 司會者 祝賀會委員長 工學博士 眞田秀吉君
式 辭	(午後 5 時 35 分) 會 長 工學博士 久保田敬一君
來賓祝辭	(午後 5 時 50 分) 內閣總理大臣 日本工學會理事長 工學博士男爵 斯波忠三郎君其他
祝電等披露	(午後 6 時 15 分)
閉會之辭	(午後 6 時 20 分) 司會者 祝賀會委員長 工學博士 眞田秀吉君
閉 會	(午後 6 時 20 分)
祝 宴	(午後 6 時 30 分) 祝宴中會員の卓上演說
解 散	(午後 8 時 30 分)

第 2 日 講 演 會 及 見 學 會

講 演 會 次 第

期 日	昭和 9 年 10 月 27 日 (土曜日)
會 場	帝國鐵道協會 (丸ノ内 3 / 4)
開 會	(午前 8 時 25 分)
開會之辭	(午前 8 時 25 分) 講演會委員長 工學博士 那波光雄君
講演開始	(午前 8 時 30 分)

演題及講演者並に講演時間

講演時間	演 題	講 演 者
8, 30-8, 43	航空港に就て	會員 原田 碧君
8, 44-8, 56	地入り試験の一現象に就て	" 工學士 野坂孝忠君
8, 57-9, 09	連弾性法則の平面剛矩形構解折への適用	" " 重松 愿君
9, 10-9, 22	不等速定流の 2, 3 の問題に就て	准員 " 本間 仁君
9, 23-9, 35	利根川の水利	" " 伊藤 剛君
9, 36-9, 48	航空寫眞に就て	會員 " 末森 猛雄君
9, 49-10, 01	検測水準測量の結果に現はれたる 2, 3 の問題	" " 野口 正義君
10 分 休 憩		
10, 11-10, 24	道路舗装用瀝青乳劑瀝青粒子の分布法則に就て	工學士理學士 島田 八郎君
10, 25-10, 37	セメント混和材に就て	會員 工學士 近藤 泰夫君
10, 38-10, 50	コンクリートの搗固めに關する研究	" 工學博士 吉田徳次郎君
10, 51-11, 03	吾國に於ける壓搾空氣作業	" B. S. 正子重三君
11, 04-11, 16	河川流量測定に就て	" 工學士 安藝 岐一君
11, 17-11, 29	河川制水工に就て	" " 鷲尾 登龍君
11, 30-11, 42	土堰堤基礎地盤砂防に對するセメント注入に就て	" 農學士 杉浦 翠君
11, 43-11, 55	木曾川の發電水力に就て	" 石川 榮次郎君

◎講演時間が短い爲、質疑應答は書面に據ることに致しましたから御了知を願ひます

見 學 會 次 第

期 日 昭和 9 年 10 月 27 日 (土曜日)

集 合 新帝國議事堂裏門前 午後 1 時 10 分 (麴町區永田町 2, 總理大臣官邸筋向)

見學場所 (1) 新帝國議事堂 (2) 專賣局業平工場

行 程 午後 1 時 10 分より約 20 分間新帝國議事堂建築に就て營繕管財局工務部長
工學博士大熊喜邦君の施設説明あり新議事堂を見學し午後 2 時 30 分同所より
自動車に分乘午後 3 時專賣局業平工場着同工場を見學し午後 4 時頃解散
とす

會 費 不要

◎晝食は便宜當日の講演會場なる帝國鐵道協會食堂に (申込者に限り) 用意してありますから本會發行の食券にて召上り下さい

◎自新帝國議事堂前至專賣局業平工場の自動車は同議事堂前に用意してありますから本會發行の乗車券にて御乗り下さい

第 3 日 講 演 會 及 見 學 會

講 演 會 次 第

期 日 昭和 9 年 10 月 28 日 (日曜日)

會 場 帝國鐵道協會（丸ノ内 3 / 4）

講演開始 （午前 8 時 30 分）

演題及講演者並に講演時間

講演時間	演 題	講 演 者
8, 30— 8, 43	庄川小牧堰堤工事に就て	會員 工學士 藤井雄之助君
8, 44— 8, 56	山口貯水池土堰堤に就て	” ” 小野基樹君
8, 57— 9, 09	東京市淀橋浄水場に於ける漏過速度の試験に就て	” ” 岩崎富久君
9, 10— 9, 22	剩餘汚泥の處分に就て	” ” 池田篤三郎君
9, 23— 9, 35	海壁に就て	” ” 島野貞三君
9, 36— 9, 46	羅津築港に就て	” ” 桑原利英君
9, 49—10, 01	舗装に及ぼす路盤の凍結作用の影響に就て	” ” 金子 桓君
10, 02—10, 14	舗装道路に於ける自動車スリップ試験	” ” 江守保平君
10 分 休 憩		
10, 24—10, 37	軌道に於ける都市計畫の趨勢に就て	” ” 町 田 保君
10, 38—10, 50	三陸地方に於ける災害復興事業に就て	” ” 磯谷道一君
10, 51—11, 03	晚翠橋の架設に就て	” ” 富樫凱一君
11, 04—11, 16	最近の鐵道橋架設の概況	” ” 稻葉權兵衛君
11, 17—11, 29	大阪驛高架線切換工事に就て	” ” 高橋末次郎君
11, 30—11, 42	國有鐵道の速度昂上と保線の關係に就て	” ” 井上隆根君
11, 43—11, 55	コンクリート道床に就て	” ” 山崎匡輔君
11, 56—12, 08	本邦内地に於ける鋼索鐵道と架空索道に就て	” ” 橋口行彦君
12, 09—12, 21	丹那隧道工事に就て	” ” 平山復二郎君

◎講演時間が短い爲、質疑應答は書面に據ることに致しましたから御了知を願ひます

見 學 會 次 第

期 日 昭和 9 年 10 月 28 日（日曜日）

集 合 東京市中央卸賣市場事務所 3 階講堂午後 0 時 40 分（京橋區築地 5 / 1, 市電築地終點又はバス築地魚市場前下車）

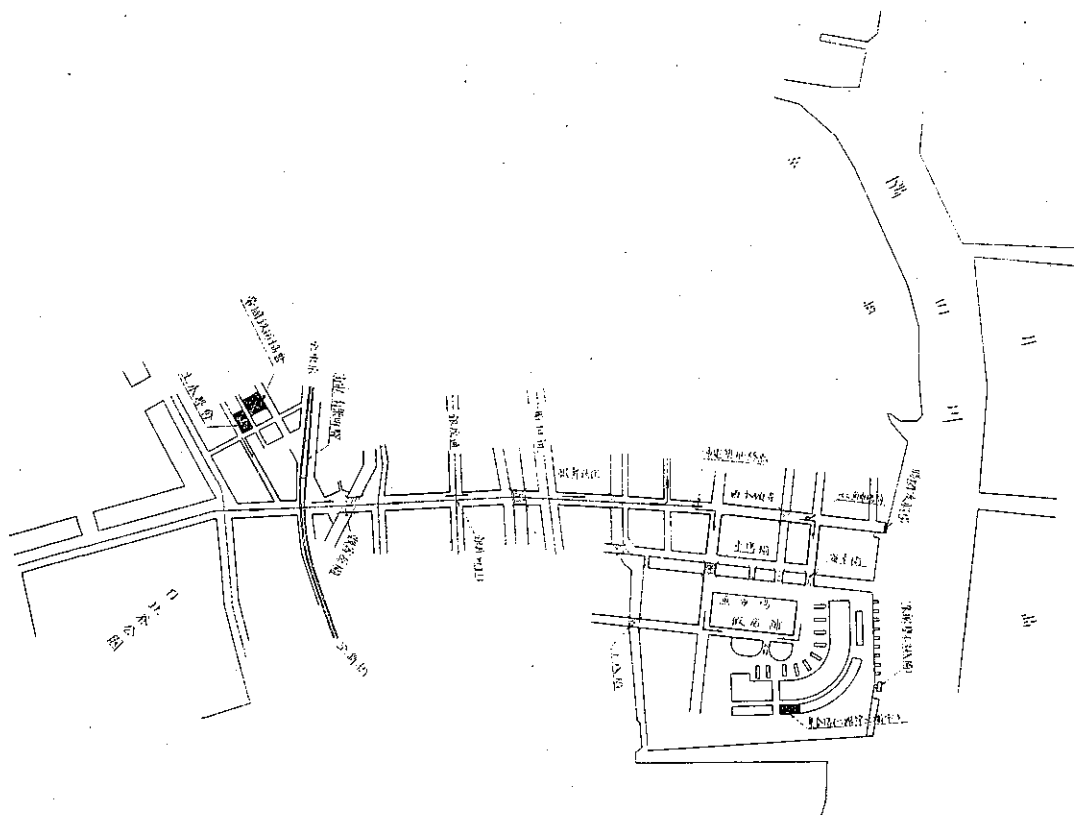
見學場所 (1) 東京市中央卸賣市場 (2) 東京築港及第三臺場 (3) 東京市芝浦下水處分場

行 程 東京市中央卸賣市場にて晝食をなし午後 1 時 10 分より約 40 分間東京市中央卸賣市場、東京築港、芝浦下水處分場等に就て市當局の施設説明あり午後 1 時 50 分より中央卸賣市場を見學し午後 2 時 20 分同所棧橋よりランチに乗船東京築港を見學し第三臺場の上陸休憩同所より再び乗船芝浦下水處分場前に上陸同場を見學し午後 4 時頃解散とす

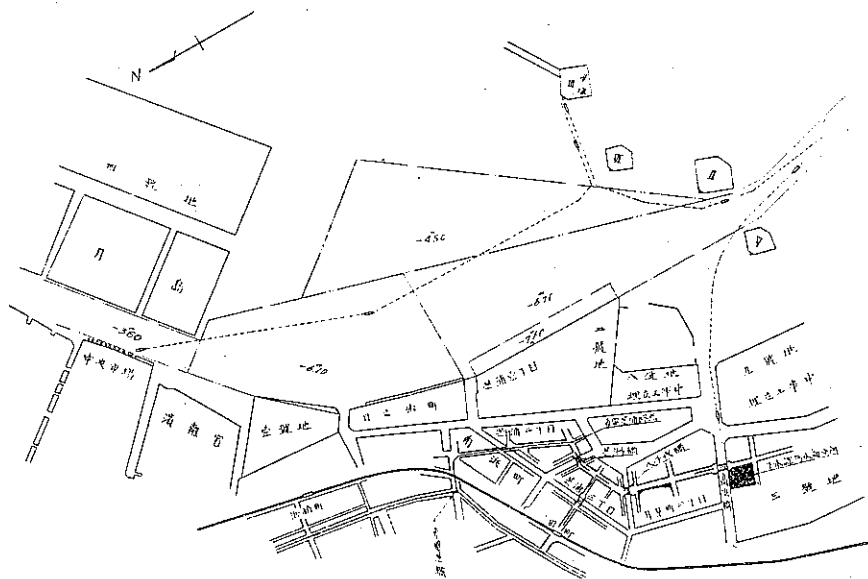
會 費 不要

◎晝食は 便宜中央卸賣市場事務所 3 階講堂に（申込者に限り）用意してありますから本會發行の食券にて召上り下さい

土木學會より中央卸賣市場に至る順路



東京港内案内順路 (10月28日見學)



訂 正 表

係數曲線に據る調整池諸問題の解法

第 20 卷 第 7 號 所載

頁	行	誤	正
637	上より7	$\alpha_i = \frac{1}{x_0 - x_1} \int_0^{x_0} \dots$	$\alpha_i = \frac{-2}{x_0 - x_1} \int_0^{x_0} \dots$
646	" 12	$\alpha x'_i l = \frac{3}{4} \alpha_i'^2 \left(1 - \frac{1}{2} \alpha_i'^2\right)$	$\alpha x_i l = \frac{3}{4} \alpha_i'^2 \left(1 - \frac{1}{2} \alpha_i'^2\right)$
647	第1表 (其の3) 表字空欄		A を入れる
652	(26') 式 分母	γ^2	r^2
"	上より7	γ	r
663	(41) 式 分子	$(\quad) + (A'_i - A'_{i'})$	$(\quad) + (A'_i - A'_{i'})$
664	上より2	$A'_i = \dots$	$A'_i = \dots$
"	"	$A'_{i'} = \frac{3}{4} \alpha_i'^2 \left(\gamma_0 - \frac{1}{2} \alpha_i'^2\right)$	$A'_{i'} = \frac{3}{4} \alpha_i'^2 \left(\gamma_0 - \frac{1}{2} \alpha_i'^2\right)$
"	(43) 式 分子	$2f(A_0 + A'_i - A'_{i'})$	$2f(A_0 + A'_i - A'_{i'})$
665	(45) 式	$\gamma_m = \frac{(A_0 - A'_i)\gamma_0 + (\quad)\gamma_0}{(\quad) + (A'_i - A'_{i'})}$	$\gamma_m = \frac{(A_0 - A'_i)\gamma_0 + (\quad)\gamma_0}{(\quad) + (A'_i - A'_{i'})}$
666	(51) 式	$\{(\quad) - \alpha_p(x_0 - x_p)\} \dots$	$\{(\quad) - \alpha_p(x_0 - x_p)\} \dots$
"	上より14	$\alpha_p' = -2 \cos\left(\frac{1}{3} \cos^{-1} x_p\right)$	$\alpha_p' = -2 \cos\left(\frac{1}{3} \cos^{-1} x_p\right)$
667	" 17	$x'_i = \dots$	$x'_i = \dots$
670	" 9	$\alpha_i x'_i - \alpha_i x_1 - A'_i + A'_{i'} = (\dots - x'_i)^2 \dots$	$\alpha_i x'_i - \alpha_i x_1 - A'_i + A'_{i'} = (\dots - x'_i)^2 \dots$
"	(55) 式 左末項	$+ \left\{ \frac{\dots}{\dots} x_i'^2 - \alpha_i x'_i + A'_i - A'_{i'} \right\} = 0$	$+ \left\{ \frac{\dots}{\dots} x_i'^2 - \alpha_i x'_i + A'_i - A'_{i'} \right\} = 0$
671	(57) 式 末項	$\dots + \left\{ A'_i - \alpha_i x'_i + x_i'^2 \frac{\dots}{\dots} \right\} = 0$	$\dots + \left\{ A'_i - \alpha_i x'_i + x_i'^2 \frac{\dots}{\dots} \right\} = 0$
"	(58) 式 右邊	$= (x_0 - x'_i)^2 \frac{\dots}{\dots}$	$= (x_0 - x'_i)^2 \frac{\dots}{\dots}$
"	上より11	$Q_0' = \frac{Q_i'}{\beta_i} \beta_0 = (x_0 - x'_i) \dots$	$Q_0' = \frac{Q_i'}{\beta_i} \beta_0 = (x_0 - x'_i) \dots$
"	(59) 式	$\dots = \frac{x_0 - x'_i}{\dots} \dots$	$\dots = \frac{x_0 - x'_i}{\dots} \dots$
"	(60) 式	$\dots \left\{ 1 + \frac{x_0 - x'_i}{\dots} \frac{1}{\alpha} \right\} = \dots$	$\dots \left\{ 1 + \frac{x_0 - x'_i}{\dots} \frac{1}{\alpha} \right\} = \dots$
672	(64) 式 末項	$\dots + x_p'^2 \frac{(\dots)}{3(\dots)} = 0$	$\dots + x_p'^2 \frac{(\dots)}{3(\dots)} = 0$
673	上より5	$\dots \{ \dots \alpha(x_0 - x_p') \}$	$\dots \{ \dots \alpha(x_0 - x_p') \}$
678	上より8	$y'_i = \dots$	$y'_i = \dots$
681	(71') 式	$\frac{(\dots) - \alpha_i(x_H - x'_i)}{(\dots) - \alpha_i(x_0 - x'_i)} = \frac{V_1}{V_0}$	$\frac{(\dots) - \alpha_i(x_H - x'_i)}{(\dots) - \alpha_i(x_0 - x'_i)} = \frac{V_1}{V_0}$
682	上より4	$A\gamma_{H1} = \dots$	$A\gamma_{H1} = \dots$
683	" 5	$= x'_i + x_j$	$= x'_i + x_j$

1126-1